

教育・研究における生成 AI（人工知能） 利活用に関するガイドライン

2024 年 2 月 13 日 制定

1. 本ガイドラインの目的

本ガイドラインは、常葉大学及び常葉大学短期大学部（以下、本学）の教育・研究活動における生成 AI（人工知能）の利活用について、厳守すべき事項及び注意すべき事項を示したものです。大学とは、これまでの常識や知識では解決できない未知の問題と向き合い、自らその解決策を求めて探求し続ける場であり、新たに得られた知見を積極的に発信していくところでもあります。適切な生成 AI の利活用は、本学での探究・発信活動に留まらず、人材不足の解消を含む事務作業の効率化等、これからの社会ツールとして幅広く利活用される可能性も考えられていますが、学問的誠実性や法的・倫理的な観点からはまだ数多くの議論が進行中です。

なお、本学としては、今後も国内外の高等教育機関の事例収集や学内での意見聴取等を行い、適宜見直しや検討を続けていきます。関係の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

2. 本ガイドラインが対象とする生成 AI

本ガイドラインは、LLM（大規模言語モデル）を用いたテキスト生成 AI（ChatGPT、Bing Chat、Google Bard 等）、及び、生成 AI によって機能拡張されたソフトウェア等を対象とします。なお、今後の技術的・社会的動向に応じてテキスト生成型以外の生成 AI の取り扱いについても必要に応じて検討し通知することといたします。

3. 生成 AI 利活用に関するガイドライン

3.1. ガイドラインの位置づけ

生成 AI を効果的に活用することで、学生の学修効果の向上や教職員の業務効率化等を図ることが可能になるといった効果が期待される一方で、生成 AI の利用者には、AI 技術の扱い方や問題点・限界等に関する理解、さらには高い倫理観や自分自身で考えて行動することなどが求められています。本ガイドラインでは、生成 AI を利活用する上での厳守すべき事項ならびに注意すべき事項等を示しましたので、本内容を参考に、生成 AI の効果的活用法についてご検討ください。

3.2. 学生向けガイドライン

- ①生成 AI で得られた情報には誤った内容が含まれていることがあります。複数の情報源から誤りが無いことを確認し、得られた情報の正しさを自ら検証するようにしましょう。
- ②生成 AI に入力した情報は、意図せずして漏洩・流出してしまう可能性があります。個人情報などの機密情報は入力しないようにしましょう。

- ③生成 AI が出力するコンテンツの中には、他者の著作権等を侵害する内容が含まれていることがあります。そのまま用いることは望ましくありません（不正行為とみなされる可能性もあります）ので、取り扱いには十分に注意しましょう。
- ④成績評価の対象となるレポートや作品等においては、生成 AI で作成したコンテンツ等をそのまま用いることは行わないでください（成績評価の対象とならない可能性があります）。
- ⑤生成 AI で得られた文章を書き写したレポートや論文等は、盗用や剽窃（ひょうせつ）といった不正行為とみなされ、懲戒の対象となる可能性もあります。十分に注意してください。
- ⑥授業の課題等において生成 AI を利活用する際は、必ず授業担当教員の指示を確認し、その指示に従うようにしてください。また、利用した際には、利用した旨を明記し、利用した生成 AI の種類や利用した範囲等も注記するようにしましょう。
- ⑦生成 AI にはデメリットもありますので、あくまでも「学修の補助的なツール」として使いましょう。また、自らの思考力を伸ばすためにも、図書館などを活用し、紙の書物を調べたりすることも行いましょう。

参考情報：有効な活用分野

- ・ 文書作成の補助（要約、言い換え、翻訳、文案作成）
- ・ アイデア出し（考えの整理、事業企画におけるペルソナ分析、デジタルツールの活用案提示 等）
- ・ ローコード等の生成（マクロ、VBA 等の生成）

参考情報：不向きな分野

- ・ 検索（最新情報、正確性が必要な情報 等）
- ・ 数学的な計算 等

3.2 倫理的・法的・社会的問題点に関する事項

- ①生成 AI を利用する際は、個人情報の取り扱いに十分注意し、プライバシーを保護してください。他人の個人情報を生成 AI に入力しないように注意してください。また自分自身に関する情報や大学・研究室・企業の機密情報に対しても入力しないように注意してください。
- ②生成 AI を使用する際には、偏見や差別的な言語を避けるように注意してください。公平で尊重される環境を保つため、差別や偏見を助長する情報を生成・共有しないでください。
- ③学術的な議論や研究活動を含め、業務を遂行する上で生じる全てのケースにおいて、生成 AI から得た情報に対しては、批判的思考を持ち、その正確性や信頼性を必ず確認して

ください。

- ④生成 AI の結果を公開する際は、その生成物が AI によって作成されたものであることを明示し、透明性を確保してください。
- ⑤不適切な目的や違法行為に生成 AI を使用しないでください。